

学校関係者評価公表シート(平成28年度中間評価)

学校法人東粉浜幼稚園学校関係者評価委員会

平成28年11月1日

1. 学校関係者評価委員会の意見

平成28年度評価委員会を平成28年11月1日に開催した。

本年度の本園の取り組みについて

(1) 本年度の教育目標・重点課題・具体的な取り組み

- ・ 本園のよき伝統(徒歩通園・夏祭りの和太鼓・ハイレベルな生活発表会等)が守られ新しい息吹(英語指導・幼小中交流・チアリーディング等)が感じられる幼児教育が行われている。
- ・ 心穏やかなやさしい純粋な子どもが育っている。
- ・ 子どもの持てる力の開発に余念のない取り組みがわかる。
- ・ 夏祭り・運動会・生活発表会に見る演技指導、合奏は、幼稚園児に思われないほどハイレベルで感動的、保護者としては毎年のことながら満足している。

△ 体力の低さを感じる。園でも外遊びをもっと奨励してほしい。

- ・ その対応策として、月一回放課後外遊びの時間を設定している。」「
- ・ 週4回給食、1回手作り家庭弁当は家庭のニーズにあっている。

△ 長期休業中の預かり保育での給食は自主申告制という声もあったが、今年の保護者は全員給食希望であった。このままでよい。

(評価 A)

(2) 放課後自由遊びについて

- ・ 月2回を原則として、子ども達の放課後園庭遊びを設定している。固定遊具を主に使った遊びであるが、竹馬、鉄棒、縄跳びも見られる。ただ、園庭の広さもあり、集団でのボール遊びは困難である。
- ・ 子どもの安全性については、保護者の見守り・協力を考えたが、怪我をさせたときの責任問題がかかるというので、傍から見守る程度である。
- ・ 遊び場の少ない対応策としては、だれからも喜ばれている。自由参加であるが90%以上の参加率である。(評価 B)

(3) 食に関する指導について

- ・ 週4回の給食、手作り弁当1回は、保護者の負担から好評である。
- ・ 土曜日の預かり保育での給食実施も大変喜ばれている。(評価 B)

(4) 英語指導について

- ・ 脳が柔軟なこの機の英語教育は効果的だと思う
- ・ グローバルな子どもの育成に期待している。

(評価 A)

(5) 評価委員会のまとめ

園の長期にわたる伝統的な教育活動と新しい風だ取り入れられ、きめ込な教育活動がおこなわれている。次代を担う子どもの基礎・基本づくりに期待している。

(総合評価 A)

学校関係者評価公表シート(平成28年度最終評価)

学校法人東粉浜幼稚園学校関係者評価委員会

平成29年4月26日

幼稚園教育指導計画(中間評価)をもとに、以後の保育活動(以下の行事等)を持ち寄り、平成29年4月26日に本年度の最終評価を行った。

- ・ もちつき大会
(有志の父親35名もあり、勇ましい音の中、和気藹々と実施できた。5名だけの参加しか得られなかった頃とを比べると、園行事に協力的な父親が増えたと言える。)
- ・ 作品展
とにかく個性的な人形がホールに勢ぞろいした。圧巻であった。
個人差の無い作品を見ていると先生の指導力の高さがわかる。
- ・ 生活発表会
ステージの上で固まっていた子どもが、大きな声を出して発表できていた。
劇も合奏もハイレベルである。毎年、感心している。
- ・ チア引継ぎ発表会
チアの参加対象者は、4歳児と5歳児であるが、春の帝塚山音楽祭、東粉浜連合運動会に見せるチアのパフォーマンスはすごい。このお別れ発表会も実に程度が高い。
- ・ 保育修了式
3年間の保育のまとめの式である。いつものことながら厳粛で、園児が堂々としている。3年間の自信に満ち溢れている。園長と一人一人が握手を交わし、証書を受け取るのがほほえましい。

総合評価 A